

# 対話型 AI の時代に 求められる 人とのかかわり プレゼンスとしてのマインドフルネス

## 司会

滝沢 龍 (東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース准教授)

## スケジュール

14:00-14:05 開会挨拶

高橋 美保 (東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース教授・心理教育相談室室長)

14:05-14:55 講演

『日本の精神文化と最先端の科学を通して、生き方、死に方を学ぶ』

スティーブン・マーフィー・重松先生 (スタンフォード大学)

14:55-15:45 講演

『かかわりの学びとしての観想教育』

井本 由紀先生 (慶應義塾大学)

15:45-16:00 休憩

16:00-16:50 ディスカッション

スティーブン・マーフィー・重松先生 / 井本 由紀先生 / 高橋 美保

16:50-17:00 閉会の言葉

能智 正博 (東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース教授・コース主任)

## 略歴



### スティーブン・マーフィー・重松先生

Stanford University School of Medicine, Heartfulness Lab Director; Lecturer in Stanford Living Education; Faculty in Center for Asian Health Education and Research  
日本人の母とアイルランド系アメリカ人の父の間に東京で生まれ、マサチューセッツ州で育つ。ハーバード大学で臨床心理学博士号を取得後、東京大学で教鞭を執る。その後、20年以上にわたりスタンフォード大学教授を務め、革新的な教育プログラムを開発。アジアの精神文化と心理学の芸術的・科学的実践を統合し、幸福と社会変革のために活動している。『スタンフォード大学のマインドフルネス教室』、『スタンフォード式の最高のリーダーシップ』、『ハートフルネス』など多数の著作がある。



### 井本 由紀先生

慶應義塾大学理工学部 (外国語・総合教育教室)・准教授  
慶應義塾大学総合政策学部、東京大学大学院総合文化研究科を経て、オックスフォード大学大学院社会人類学科にて博士号取得。専門は教育人類学・観想教育。2010年より慶應大学で教鞭をとる。2017年度にフルブライト研究員として米国でマインドフルネス教育の調査を行いつつ、自身の心身と教育・研究実践の関わりの探求を始める。2022年10月に『SEE ラーニングブレイク - 感じることからはじまる学び』(kukui books)を翻訳出版。共編著書に『若者問題の社会学 - 視線と射程』(2013年、明石出版)がある。

## お問合せ・お申込み

東京大学大学院教育学研究科附属  
心理教育相談室

Mail: [koukai@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:koukai@p.u-tokyo.ac.jp)

お申し込みは心理教育相談室ホームページまで

<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/soudan/>



2023年 11月26日 日

14:00~17:00

オンライン開催有り

東京大学本郷キャンパス HASEKO-KUMA HALL

〒113-8656 文京区本郷7-3-1 東京大学工学部11号館1-2階

参加費無料 定員80名 オンライン120名